

An illustration of four children looking down at a large white plate. The plate contains four vegetables: a red tomato, a red radish, an orange pumpkin, and a purple eggplant. The title '子供食堂' is written in white on the vegetables, and 'スタートブック' is written in green below them. A wooden spoon and a wooden fork are also on the plate. A banner at the bottom of the plate says '実際の子供食堂の事例も掲載!'.

# 子供食堂 スタートブック

実際の子供食堂の事例も掲載!



## Contents

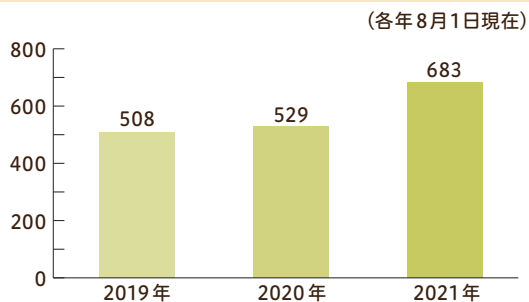
|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| はじめに（子供食堂について） .....            | 2  |
| 1. 子供食堂の立ち上げ時に考えたい6つのポイント ..... | 3  |
| ①スタッフ（だれと？）                     |    |
| ②目的（なぜ？）                        |    |
| ③利用対象（だれに対して？）                  |    |
| ④開始時期（いつから？）                    |    |
| ⑤開催場所（どこで？）                     |    |
| ⑥開催方法（どれくらい？どうやって？）             |    |
| 2. 保健所への手続き・相談について .....        | 6  |
| 3. ボランティア保険・行事保険等の加入について .....  | 7  |
| 4. 地域への周知・広報について .....          | 8  |
| 5. 食事について（食材・食数・メニュー） .....     | 9  |
| 6. 衛生管理について .....               | 11 |
| 7. 子供や家庭の支援について .....           | 13 |
| 8. 子供や保護者との接し方について .....        | 15 |
| 実際の子供食堂の事例紹介 .....              | 16 |
| ①国立市「たまご（多孫・他孫）食堂」              |    |
| ②西東京市「放課後キッチン・ごろごろ」             |    |
| ③品川区「子ども食堂 んまフェス !!」            |    |
| ④八王子市「子ども食堂カフェ北野」               |    |
| ⑤大田区「感動こども食堂」                   |    |
| 番外編：子供食堂ネットワーク・連絡会・学習会について      |    |

# はじめに（子供食堂について）

子供食堂とは、地域の子供や保護者が気軽に立ち寄り、栄養バランスの取れた食事をとりながら、相互に交流する場のことをいいます。

子供食堂は、子供へ食事を提供するだけでなく、行政等の支援に適切につなげたり、地域における居場所として活動を広げるなど、様々な側面があり、近年、その数は増加傾向にあり、ニーズが高まっていることが伺えます。

◎ 都内の子供食堂の数



出典：東京都福祉保健局調査

この冊子は、都内で子供食堂を始めようと考えている方々に対して、開催場所や必要な手続きなど、立ち上げに必要なポイントや、実際の子供食堂の事例を紹介し、役立ていただくことを目的に作成しました。「何から始めたらよいか?」「他の子供食堂はどんな風で開催しているのだろうか?」など疑問が出てきた際、ぜひご覧ください。

本書の作成にあたり、ご協力いただきました多くの皆様に心からお礼申し上げます。

令和5(2023)年3月  
東京都福祉保健局

# 1.

## 子供食堂の立ち上げ時に 考えたい6つのポイント

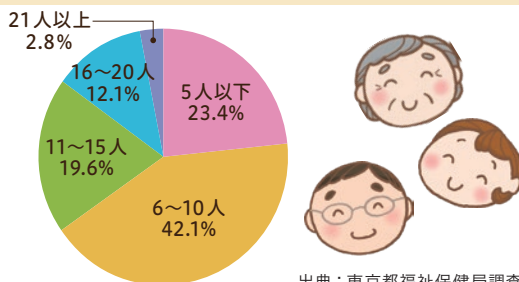
### ① スタッフ（だれと？）

地域のお知り合いなど、何人かの有志で立ち上げることが多いようです。活動していく中で、地域の民間団体の方々や、学生ボランティア、時には利用者自身がスタッフとして活動するなど、仲間が広がっていきます。

運営のことや困ったことを一緒に考えたり、役割を分担するためにも、何人かで集まって始められるとよいでしょう。

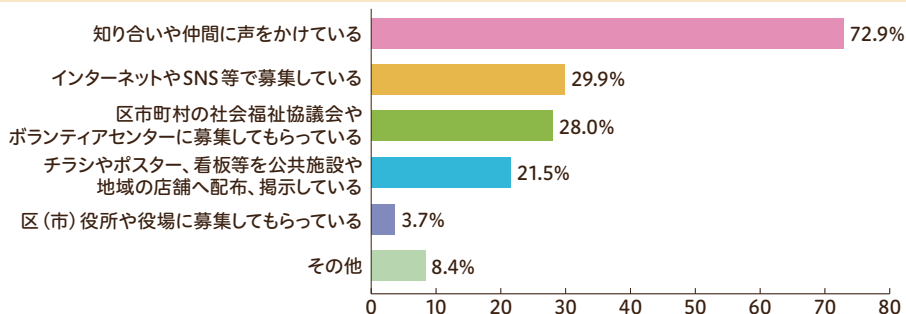
スタッフの募集の仕方など、区市町村の社会福祉協議会や、大学等のボランティアセンターへ相談してみましょう。

◎ 現在、子供食堂の運営スタッフは合計で何名いますか



出典：東京都福祉保健局調査

◎ 運営スタッフを募集するときの方法を教えてください



出典：東京都福祉保健局調査

### ② 目的（なぜ？）

スタッフ同士で、子供食堂を始めたいと思った理由や目的などをよく話し合ってみましょう。「子供たちの居場所」「子供と地域の高齢者が交流できる場所」「学習の支援も

行う子供食堂」など、子供食堂には様々なかたちがあります。食事の提供以外にも、工作や交流会、学習会などを開催することで、子供や親子のつながりが生まれ、活動が充実していきます。事前に他の子供食堂を見学することや、話を聞くことも参考になります。

子供食堂を立ち上げた後も、どのような方向性で活動していくのか、スタッフ同士で時折話し合い、確認していきましょう。

例えば、「うれしい・安心・楽しい」「子供の楽しい居場所」「お腹いっぱいごはんを食べる」「親子で食卓を囲む居場所」「食前、食後のあいさつをしっかりとる」「子供が大人になったときに役立つことを身に付ける」等、子供食堂の決め事やキャッチフレーズを考え、書き出してみることで、活動の目的がより明確になり、スタッフ同士で共通認識を持つことができます。

### ③ 利用対象 (だれに対して?)

子供食堂を始める目的を考えながら、子供だけを対象とするか、保護者も対象とするのか、または誰でも利用可能にするかなどを決めます。

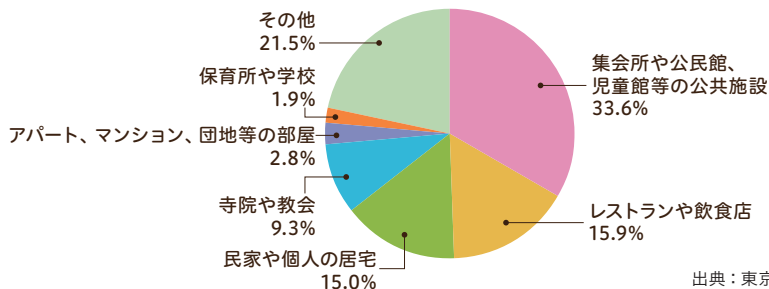
### ④ 開始時期 (いつから?)

目的や利用対象が明確になってきたら、開始時期を考え、それに向けて、様々な段取りを考えます。

### ⑤ 開催場所 (どこで?)

アンケートによると、3割程度の子供食堂が、集会所や公民館など、公共施設で開催していることが分かりました。

#### ◎ 現在、子供食堂をどこで開催していますか



出典：東京都福祉保健局調査

飲食店の開店前などの時間に、子供食堂を開催している場合もあります。

提供する食事の内容にもよりますが、調理設備や飲食スペースがある程度整っており、なるべく費用が発生しない場所が確保できるとよいでしょう。



集会所のキッチンを借りて調理しています。  
(国立市「たまご食堂」)



子供や保護者がくつろげる空間にしています。  
(品川区「子ども食堂 めまフェス!!」)

## ⑥ 開催方法(どれくらい? どうやって?)

開催場所の目途がついたら、例えば「毎週火曜日に開催する」、「月2回日曜日に開催する」など、開催日や頻度を決めます。定員や参加費は、確保できる資金や寄付、食材を考えながら決めていきます。また、周辺地域の子供食堂を見学に行くなど横のつながりをつくると、なるべく重複しない日に開催するなどの工夫もでき、今後の活動の助けになるでしょう。

助成金については、国や東京都、区市町村でも様々な助成金がありますが、実施の有無や内容は、区市町村により異なる場合がありますので、まずは区市町村へご相談ください。こちらでは、代表的なものをいくつかご紹介いたします。

◎子供食堂推進事業  
(東京都)



◎子供の居場所創設事業  
(東京都)



◎こどもの未来応援基金  
(未来応援ネットワーク事業)  
(国)



## 2.

# 保健所への手続き・ 相談について

子供食堂で食事を提供する場合、食品衛生法上の届出等が必要となる場合があります。開催前に、必ず地域の保健所に相談してください。

◎都保健所一覧



◎特別区保健所・  
保健センター一覧



◎八王子市・町田市保健所・  
保健センター一覧



以下の欄に、地域の保健所の連絡先を書き込んでおきましょう。

| 保健所名 | 担当部署名 | 電話番号 |
|------|-------|------|
|      |       |      |



# 3.

## ボランティア保険・

## 行事保険等の加入について

子供食堂の開催中に、スタッフが怪我をしてしまうことや、子供が他の利用者に怪我をさせてしまうこともありえます。人手不足や悪天候など、あらかじめ事故が起こりやすい状況を予測し、開催中のヒヤリハットなどをスタッフ同士で共有することが、事故の予防につながります。

とはいえ、万が一事故が起きてしまった時にも対応できる一つの方法として、あらかじめ、ボランティア保険や行事保険等に参加しましょう。

保険の詳細については、最寄りの区市町村や社会福祉協議会にご相談ください。こちらでは、東京ボランティア・市民活動センターの保険をご紹介します。

◎【参考】東京ボランティア・市民活動センター  
ボランティア保険・行事保険



# 4.

## 地域への周知・ 広報について

子供食堂の近くに団地や住宅が多い場合は、チラシのポスティングや自治会などを通じて広報をする方法が考えられます。子供食堂の利用を促すのはもちろんですが、保護者や地域、学校関係者等の方々に対しても、ご理解、ご協力いただける関係を築くことが大切です。

チラシやリーフレットを作成する際は、開催場所、時間、金額、申込方法等を記載しましょう。また、子供が読みやすいように平易な表現で作成する、責任者の名前を記載する、子供食堂の利用について理解を得ること等を意識して作成しましょう。スタッフの力も借りながら、子供食堂の外観や食事の写真等を貼り付けるなどして、親しみやすいデザインにできるとよいでしょう。

### ◎チラシの例

(西東京市「放課後キッチン・ごろごろ」)

2022 2023  
こども しょくどう

「東京みんなでサロン」事業  
田無緑町三丁目アパート  
集会所にて

ほうかご 放課後キッチン・ごろごろ

毎月 だいさん もくようび 第3(木)・午後 4~6時

10月20日(木)から  
緑都営集会所に集まれ~

あったかい  
ごはんがタダで  
たべられるよ!

ほけんにはいるので  
「じゅうしょ」と  
「でんわばんごう」を  
おぼえてきてね!

しょうがくせい さい えん さんか  
・小学生~18才までが 0円で参加できます(15名まで)

# 5.

## 食事について（食材・食数・メニュー）

開催に向けた段取りが整ってきたら、いよいよ食事の準備をします。

食材は、社会福祉協議会やフードバンクから寄付を受ける方法や、行政や民間の助成金等を活用して購入する方法など、様々な方法があります。

子供への食育活動を行う場合には、農林水産省の政府備蓄米無償交付制度に申請することができます。

◎「学校給食用等政府  
備蓄米の交付について」  
（農林水産省）



食数は、開催場所やスタッフの人数により様々です。事前予約制とするか、予約なしでも利用可能とするかによって、必要な食数も変わります。

予約なしでも利用可能とする場合は、天気の良い日には食数を少なめにする等、食品廃棄を起こさない工夫ができるとよいでしょう。

メニューについては、「カレーライスが人気」という声がありました。栄養バランスが良く、子供の好き嫌いが少ないメニューや、一度にたくさん作れるメニューが選ばれています。あたたかいお味噌汁や、おみやげに渡せるお菓子なども喜ばれ



るとのことです。

寄付を受けた食材の中からメニューを考えている子供食堂もあるようです。足の早い生鮮食品は寄付を受けることが難しく、缶詰などの保存食がメインですが、他の食材と一緒に炒める等アイデアを凝らし、彩りのある料理を作っているとのこと。ホームページ等でメニューを公開している子供食堂もありますので、参考にしてみましょう。また、他の子供食堂を見学する、地域の子供食堂の連絡会に参加するなどして、聞いてみるのも活動の参考になるでしょう。

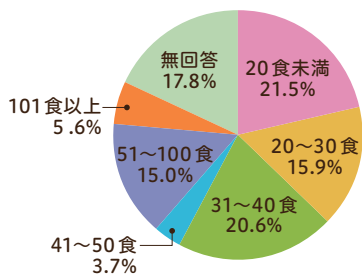


食後に缶詰やお菓子を持ち帰ってもらう子供食堂もあるようです。

最初は、「がんばりすぎない」ことも大切です。まずはお試しで一回やってみて、確認してみるのもよいでしょう。

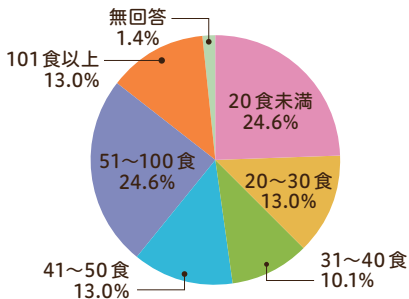
一方で、開催が急に中止になると、参加を予定していた子供たちや保護者が困ってしまうという声もあります。やむを得ない場合を除き、周知した開催日に確実に開催することも大切です。

◎ 子供食堂を集合形式で提供する食数



出典：東京都福祉保健局調査

◎ 配食・宅食で提供する食数



出典：東京都福祉保健局調査

# 6.

## 衛生管理について

食中毒等の食品による事故の発生を防止するため、衛生管理に注意する必要があります。以下、食事を提供する際に注意したいポイントをいくつかご紹介いたします。

### —調理担当者の衛生管理—

- 1 調理開始前に、調理担当者の健康状態を確認し、下痢、おう吐、発熱などの症状があるときは、調理や配膳を控えましょう。  
調理担当者の家族の体調にも注意が必要です。
- 2 手指に傷がある人は調理を控えましょう。
- 3 手指の爪は短く切り、指輪、ピアス、腕時計などは外しましょう。
- 4 調理担当者はエプロン、三角巾、マスクなど、清潔な作業着を身につけましょう。
- 5 トイレを利用する際や清掃の際は、調理用の作業着を脱ぎましょう。
- 6 必要なタイミングに正しい手順で手を洗いましょう。



#### 手洗いの タイミング

- 調理の前 ●使い捨て手袋を着用する前 ●盛り付けの前
- 作業内容が変わるとき ●肉類や魚介類など生の食材を扱った後
- トイレの後 ●清掃を行った後 ●お金を触った後

## —調理施設の衛生管理—

- 1 食品や器具を洗浄する設備や手洗設備などを備えた調理施設を使用しましょう。
- 2 調理施設は清潔に保ち、整理整頓しましょう。
- 3 手指用の石けん・消毒液、ペーパータオル、調理器具用の洗剤・消毒液、清潔なふきんなどを用意しましょう。
- 4 洗剤などの薬品は、食品とは別の場所に保管しましょう。
- 5 トイレは定期的に清掃・消毒して衛生的に保ちましょう。
- 6 ゴミ箱は汚液や汚臭が漏れない蓋付きのものにし、清潔にしておきましょう。



このほかにも、東京都では、子供食堂などにおいて気を付けていただきたい衛生管理についてまとめたリーフレットを作成しています。

また、一般社団法人全国食支援活動協力会では、感染症予防やアレルギー対策等についてまとめた「こども食堂あんしん手帖」を発行しています。

以下リンク先からご覧いただくことができますので、参考にしてください。

◎「食品衛生法による営業の許可・届出を必要としない小規模給食、ボランティア給食を始められる皆さんへ」  
(東京都)



◎「こども食堂あんしん手帖」  
(一般社団法人全国食支援活動協力会)



# 7.

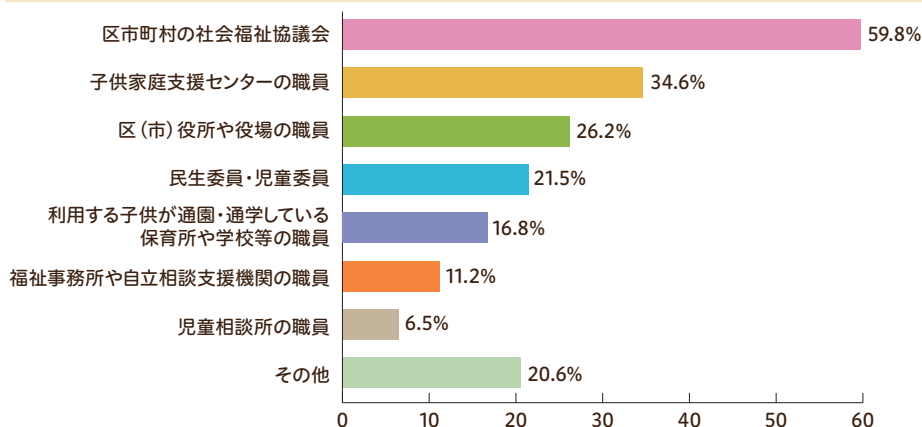
## 子供や家庭の 支援について

子供食堂を利用する子供の中には、食事を十分にとれていない、家族との関係がよくないなど、様々な事情を抱えた子供が利用することが考えられます。

そのような子供や家庭の存在に気づき、必要な支援につなげる上で、地域で身近に利用できる子供食堂は、とても大切な役割を果たしています。

アンケートによると、子供や保護者、食事のことについて、子供食堂が日頃相談している機関として、区市町村の社会福祉協議会や、子供家庭支援センターが多く挙げられています。

◎ 子供や保護者のこと、食事のことについて、日頃から連絡、相談している方は誰ですか



出典：東京都福祉保健局調査

区市町村の社会福祉協議会では、生活自立相談や生活支援サービスの提供等を行っています。子供家庭支援センターでは、子供や家庭のあらゆる相談に応じ、家事・育児の支援や一時預かりなど、在宅サービスの提供を行っています。

子供食堂を運営する中で気が付いたことを区市町村の社会福祉協議会や子供家庭支援センターに相談することで、子供や家庭が抱える問題の解消につなげることができます。

子供食堂を立ち上げる際は、区市町村の社会福祉協議会や子供家庭支援センターにお知らせし、定期的には子供や家庭のことを相談する機会を持てるとよいでしょう。

また、地域の行事や課外活動を通じて、近隣の学校や児童館などと日頃から関わりを持っておくことで、課題を抱えている子供や家庭が利用につながることもあります。学校や児童館のほかにも、自治会や学校運営協議会、ソーシャルワーカー、民生委員・児童委員など、地域で子供のために活動している方々と関わりながら活動できるとよいでしょう。

なお、子供の虐待が疑われるなど、早急な対応が必要な場合は、子供家庭支援センターや児童相談所等に対して速やかに通告してください。

東京都のホームページに、「虐待に気づくためのチェックリスト」を掲載していますので、ご参照ください。

◎「虐待に気づくためのチェックリスト」  
(東京都)



◎都内区市町村社会福祉協議会一覧  
(東京都社会福祉協議会)



◎都内子供家庭支援センター一覧  
(東京都)



◎ヤングケアラーについて  
(東京都)



以下の欄に、運営地域の社会福祉協議会や子供家庭支援センターの連絡先を書き込んでおきましょう。

|            | 区市町村名 | 担当部署名 | 電話番号 |
|------------|-------|-------|------|
| 社会福祉協議会    |       |       |      |
| 子供家庭支援センター |       |       |      |

# 8.

## 子供や保護者との 接し方について

これまで子供や保護者と接する経験があまりない方にとっては、どのように接すればよいか、不安になることも多いようです。

まずは、子供に対しても、大人に対しても、明るく「おはようございます」や「こんにちは」と、あいさつをしましょう。

子供は、自分の状況や気持ちを言葉にすることがうまくできないことや、時間がかかることもあります。様子を気にかけることはもちろん大切ですが、何か他のことに夢中になっているときなど、無理に話しかける必要はありません。何気ない会話を重ねる中で、話してくれるようになるのを待つことも必要です。

子供と話すときは、言葉遣いにも配慮しましょう。例えば、家族構成が分からないうちは、「お父さん」や「お母さん」という言葉ではなく、「おうちの人」という言葉を選ぶなど、活動していく中で、意識したいポイントが分かってきます。

保護者の方と接するときは、安心して利用していただけるような関係づくりを意識しましょう。家庭の状況は様々ですが、否定するような言い方はしないことが大切です。

支援が必要な家庭であっても、子供食堂や行政の支援に抵抗を感じる場合も考えられます。「よかったら食べてください」など、さりげない声掛けを行うことで、少しずつ信頼関係を築くことができます。

過度に丁寧に対応することや、無理な対応をする必要はありません。対応できないことがあれば、丁寧に説明しましょう。

慣れてきたら、子供や保護者との接し方を資料にまとめることで、スタッフ同士で共有するのもよいでしょう。



# 実際の子供食堂の 事例紹介

都内で活動している子供食堂をご紹介します。  
ご協力いただいた子供食堂のみなさま、ありがとうございました。  
活動に際し、ご参考になさってください。

1 国立市 「たまご(多孫・他孫)食堂」

---

2 西東京市 「放課後キッチン・ごろごろ」

---

3 品川区 「子ども食堂 ぬまフェス!!」

---

4 八王子市 「子ども食堂カフェ北野」

---

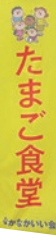
5 大田区 「感動こども食堂」

---

番外編 | 子供食堂ネットワーク・  
連絡会・学習会について



# 「たまご（多孫・他孫）食堂」



## ◎ SNSを活用し、開催のお知らせや予約を受付

「たまご食堂」では、LINE 公式アカウントを作成し、子供食堂の利用者の方々に登録していただき、開催日程等をお知らせしています。

公式アカウントで子供食堂のグループを作成し、子供や保護者にご登録いただくことで、イベント等のお知らせも行うことができます。

個別にメッセージを送受信し、利用の予約や、お問い合わせの受付にも活用することができます。

## ◎ 配食を通じて、子供や家庭の様子を気にかける

近年は感染症の拡大に伴い、感染を防止しながら支援を継続する取組として、「配食」や食材を自宅に届ける「宅食」の取組が広がっています。

「たまご食堂」は月 2 回開催しており、うち 1 回は手作りのキーマカレーを、1 回は地域応援のお弁当を提供しています。（子供は無料・保護者は有料）

お渡しする時には、子供や保護者とコミュニケーションをとり、最近の生活や家庭の様子をお話していただけるよう意識しています。

子育てに疲れている様子がある、子供が学校に行けていない、など、気になる様子があったときは、市の社会福祉協議会と協力して、子供やご家庭を適切な支援につなげられるように取り組んでいます。



お弁当については、衛生面を考慮し、使い捨ての紙皿かパックを使用しています。カレーや味噌汁を提供する際は、お鍋かタッパーを持参してもらい、ごみが出ないようにしています。

## 「放課後キッチン・ごろごろ」



## ◎都営住宅の集会所を活用して、子供食堂を開催

「放課後キッチン・ごろごろ」では、「東京みんなでサロン」事業として都営住宅の集会所を活用し子供食堂を開催しています。

集会所には湯沸かし器とシンク、冷蔵庫がある程度ですが、安価で利用できるだけでなく、公共性があり、居住者や近隣住民に利用してもらいやすいというメリットがあります。

身近に開かれた居場所として運営する中でも、支援が必要な子供を連れてきてもらえるよう、学校や児童館など、地域との関係を大切にしながら活動に取り組んでいます。



開催場所の確保に苦慮していたところ、「東京みんなでサロン」事業を知り、都営住宅集会所での実施に至りました。入居者を中心とした子供の居場所として開催しています。

このほかにも、いくつかの都営住宅集会所について、東京都が団地自治会との橋渡しを行っています。是非、活用をご検討ください。

## ◎「東京みんなでサロン」事業



## 「子ども食堂 ぬまフェス!!」

## ◎飲食店を活用し「子連れでも過ごしやすい居場所」づくり

「子ども食堂 ぬまフェス!!」では、飲食店の営業時間外に子供食堂を開催しています。

オーナー自身の子育ての経験から、「子連れでも過ごしやすい居場所をつくりたい」「仕事や子育てに追われ、夕食に時間を割けない家庭の負担を減らしたい」と思い、飲食店の営業時間外を活用して、子供食堂を始めました。

たとえ経済的に困っていなくても、忙しい毎日を過ごすご家庭に、週に1度、きちんと調理した食事を届け、保護者も子供もほっとする時間と居場所を提供したいと思い、活動しています。

立ち上げの際には区の助成金を活用し、子供食堂用の冷蔵庫と食器を購入しました。当初は少し赤字が発生してしまいましたが、現在では助成金や寄付を活用して、大きな負担なく運営することができています。

購入した冷蔵庫や食器以外にも、飲食店の設備を活用して、1人で子供食堂を切り盛りしてきましたが、1日に30人程度が利用するようになった現在では、飲食店と子供食堂の場所を分け、スタッフを1人増員して営業しています。



飲食店では主にパン料理を提供していますが、子供食堂では、飲食店で余った食材や、寄付を受けた食材を調理し、家庭料理を提供しています。

## 「子ども食堂カフェ北野」

## ◎子供食堂で朝ごはんを提供

「子ども食堂カフェ北野」では、子供の楽しい居場所づくりを目的に、平日朝の登校前の時間帯（6:45～8:30）に、子供食堂を開催しています。大学生までは無料です。子育て家庭からは「朝の準備が楽になった」「仕事に早く行かなければならないのでとても助かる」などという声が上がっています。

近隣の学校の校長先生から、地域の連絡会で「朝食を食べてこない子供のために、地域で何かできないか」と提案があって実現した取組。学校と話し合い、登校前に子供が立ち寄れるようになりました。学校の校長先生が来たり、親子で利用する方もいるとのこと。

ボランティアスタッフの中には、昼間は在宅ワーク等で仕事をしながら参加している方もいるとのこと。1日が始まる前の朝の時間を活用することで、負担感なく運営することができているとのこと。



地域のベーカリーからパンの提供を受け、自前で調理したスープや飲み物と合わせて提供しています。活動を知った企業や近所の方からも、シリアルやお米など、様々な寄付もあります。



1日に30～40人が利用しており、子供たちからは「朝ごはんをたくさん食べて、1日を元気に過ごすことができるようになった」「毎日家を出るのが楽しみのになった」という声が届いています。

## 「感動こども食堂」

## ◎食の支援を行いながら、リアルな社会体験の場を提供

「感動こども食堂」は、企業の社員育成や飲食店経営等の事業を行う法人が運営しています。

コロナ禍で、地域により貢献したいという思いを持つとともに、法人の活動の中で、若者のコミュニケーション力や社会性の低下に課題を感じていました。

そこで、「子供がお腹いっぱいごはんを食べて、社会を生きていく力を少しでも身につける居場所」として、法人が経営する飲食店内で、「毎日開催する」子供食堂を始めました。

保護者の方に対しても、このようなコンセプトを伝えた上で、子供たちが自らおにぎりを作る体験や、食事の準備や後片付けなどの体験、ボランティアによる学習支援など、様々な体験活動に取り組んでいます。活動に共感いただいた企業や、区の社会福祉協議会から講師を紹介していただくこともあります。

子供たちが元気に食べて、多くの人たちとふれあえ、リアルな社会体験や感動体験ができる居場所を創っていききたいと思い、活動しています。



区の社会福祉協議会からご紹介いただいた、地域の弁護士の方々が、学校の宿題や勉強の支援を行っています。



みんなでカレー作りを体験しました。チームごとにわかれて、自由に味付け、トッピングをしてできあがりです。自分でつくったカレーはきっと美味しいはずですよ。

## 子供食堂ネットワーク・ 連絡会・学習会について

地域によっては、子供食堂相互の活動を充実させることを目的とした「子供食堂ネットワーク」や「連絡会」「学習会」等があります。

### ◎しながわ子ども食堂ネットワーク

例えば品川区では、区内の子供食堂の継続支援を目的とする「子ども食堂ネットワーク」があります。区の社会福祉協議会内ボランティアセンターが「子ども食堂ネットワーク」の事務局を務め、情報交換や学習会、区内の子供食堂マップの作成、区内企業からの食材や物品の寄付の受付等を行っています。

「地域での顔の見える関係」を大切に活動しており、子供食堂の運営者・支援企業・ボランティアセンター・区職員が一堂に会するフォーラム等も開催しています。

新しく立ち上げた子供食堂に対しては「のぼり旗」を配布し掲示してもらうことで、子供が抵抗なく、気軽に子供食堂を利用できるように支援しています。



しながわ子ども食堂MAP



のぼり旗

地域によって、このようなネットワーク等の有無や活動内容は異なりますが、子供食堂を立ち上げる時には、区市町村や社会福祉協議会などに確認してみましょう。

また、東京ボランティア・市民活動センターでは、子供食堂実践者向けの学習会を開催しています。

# 子供食堂スタートブック

令和5(2023)年3月発行

令和5(2023)年7月 一部QRコードを修正

発行 東京都福祉局子供・子育て支援部家庭支援課

住所 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

メールアドレス S1140502@section.metro.tokyo.jp

電話番号 03-5320-4371(直通)

監修 東京ボランティア・市民活動センター 所長 山崎美貴子

編集・デザイン 株式会社トライ

本冊子は、都内の子供食堂の運営者の方々に対し、アンケート調査やヒアリングを行った上で作成いたしました。  
また、掲載されている画像は、東京都の職員が子供食堂を訪問して撮影したほか、運営者の方から提供を受けたものです。